

# 滋賀の流域治水

## ～水害・土砂災害に強い地域づくりを目指して～



平成24年12月23日 流域治水シンポジウム  
滋賀県知事 嘉田由紀子

# 流域治水基本方針（平成24年3月策定）

目標

- ① どのような洪水にあっても、人命が失われることを避ける（最優先）
- ② 床上浸水などの生活再建が困難となる被害を避ける

手段

川の中の対策（堤外地対策）だけではなく、「ためる」「とどめる」「そなえる」対策（堤内地での対策）を総合的に実施する。

河道内で洪水を安全に流下させる対策  
（これまでの対策）

ながす

河道掘削、堤防整備、  
治水ダム建設など



流域貯留対策  
（河川への流入量を減らす）

ためる

調整池、グラウンド、森林、水田  
ため池など

氾濫原減災対策  
（氾濫流を制御・誘導する）

とどめる

輪中堤、二線堤、霞堤、水害防備林、  
土地利用規制、建築物の耐水化など

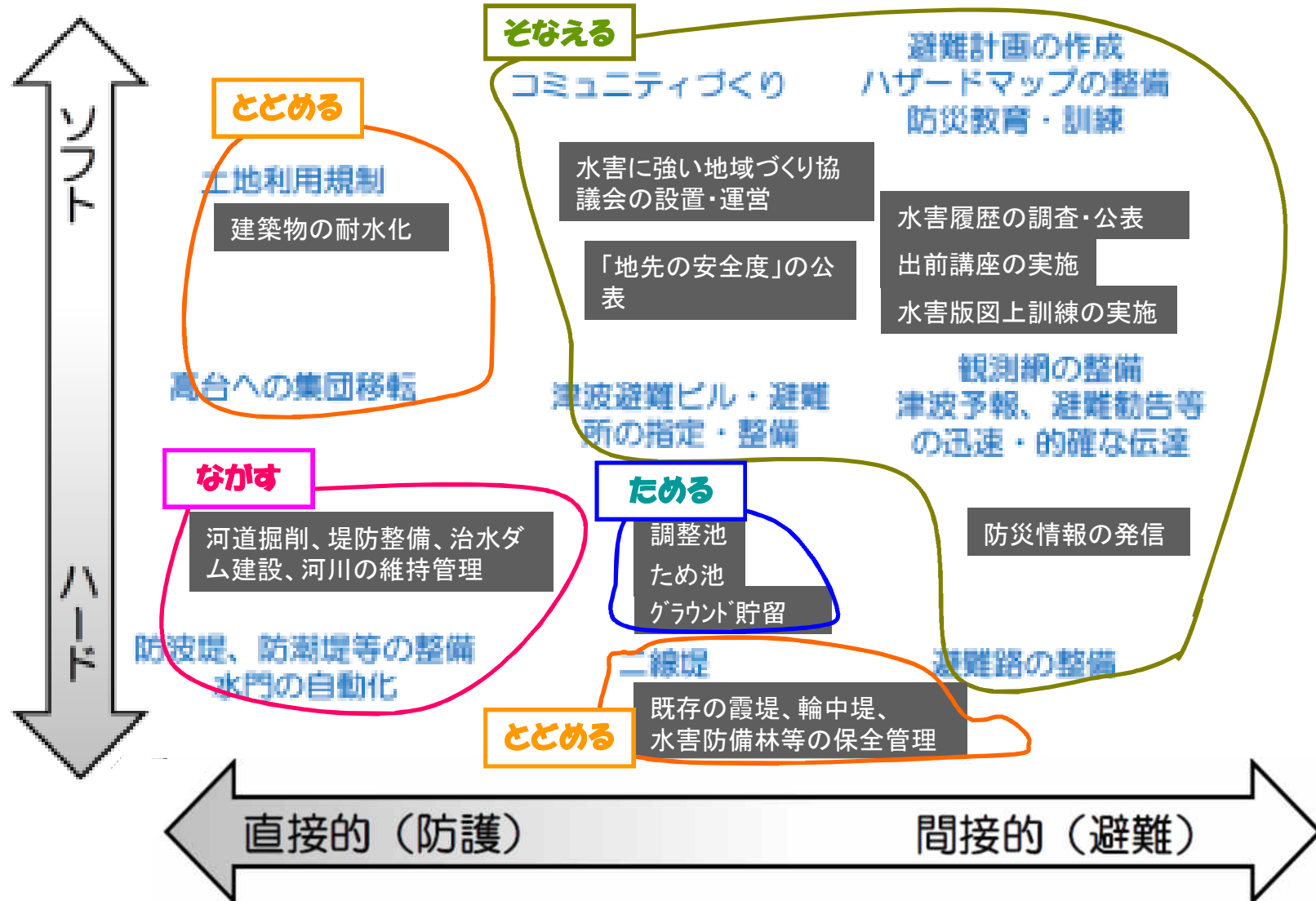
地域防災力向上対策

そなえる

水害履歴の調査・公表、防災教育  
防災訓練、防災情報の発信など

# 東日本大震災復興構想会議

## ソフト・ハードの施策を総動員

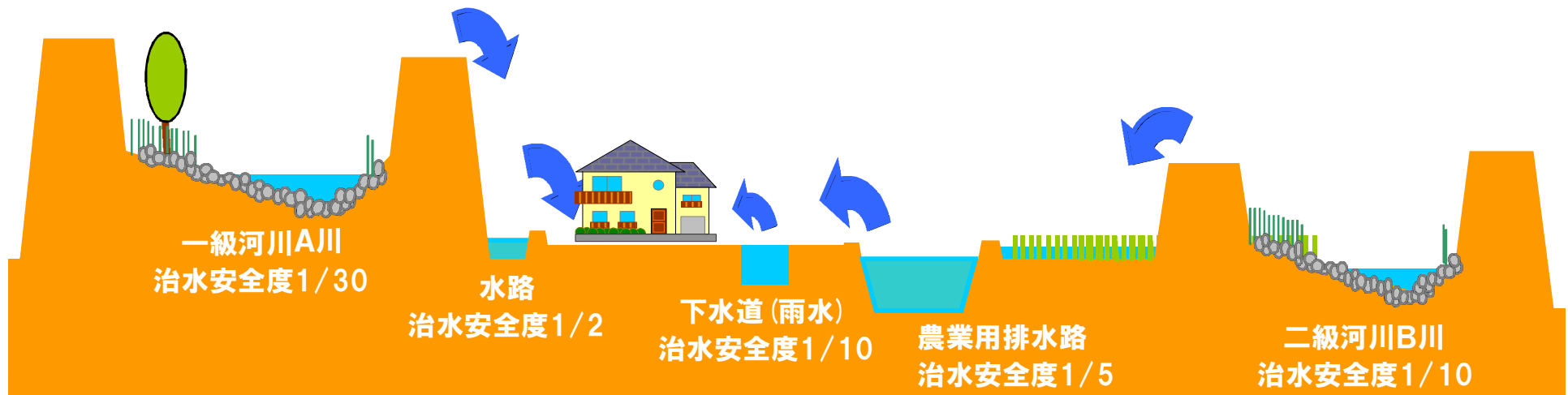


※「滋賀の流域治水」施策を白抜き文字で追記、施策の分類枠も追記

H23.6.25 東日本大震災復興構想会議／復興への提言の図表

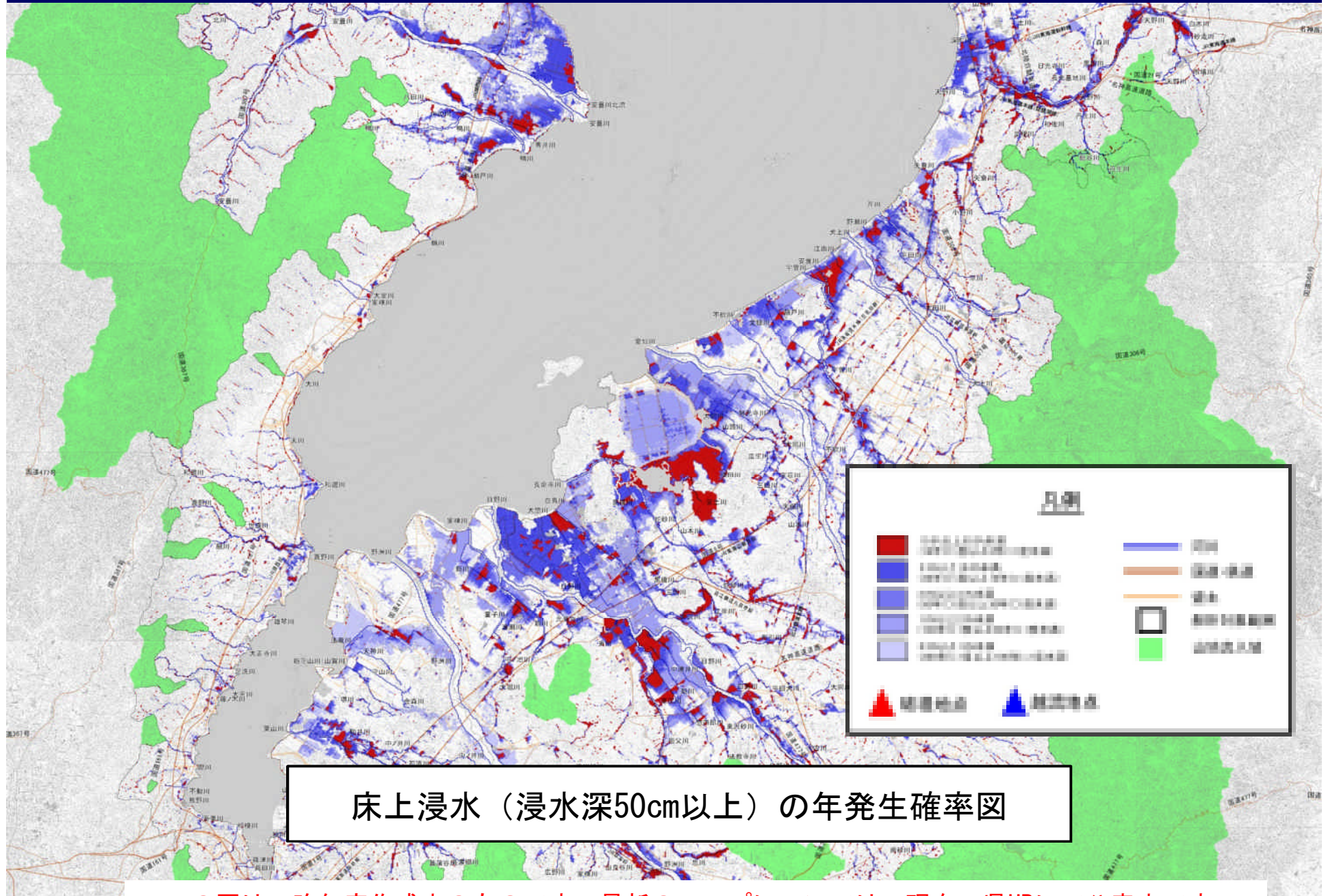
# 「地先の安全度マップ」とは

- 地先の安全度マップは、大川だけでなく、中小河川や農業用排水路など身近な水路の氾濫も考慮し、各地点の降雨規模別に想定した浸水深や流体力、家屋水没等の被害発生確率などの水害リスクを地図に表したものです。
- マップには、「浸水深図」、「流体力図」、「被害発生確率図」の3種類あります。
- 地先の安全度マップに基づく水害リスク情報は、流域治水政策を推進する上で欠かすことのできない基礎情報です。





# 地先の安全度マップの一例



この図は、昨年度作成されたもので、最新データは、平成25年度調査結果に基づいて作成された

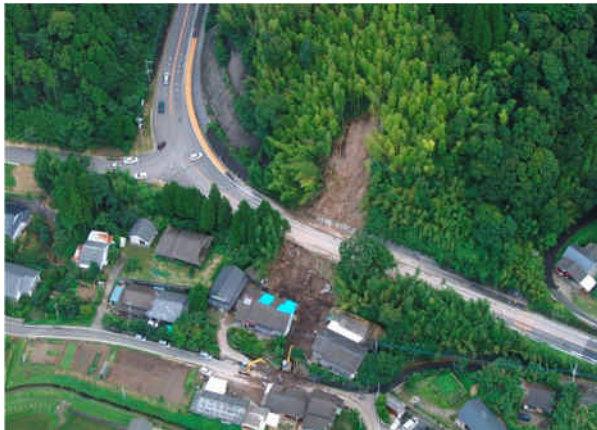


# 土砂災害防止法

## 土砂災害の種類

### 急傾斜地の崩壊

雨や地震などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象。ひと度人家を襲うと逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。



県内の 急傾斜地崩壊危険箇所

**2,719** 箇所

### 土石流

山や谷(溪流)の土、石、木などが、大雨や長雨等による水と一緒になって、すごい勢い(およそ時速40~50km)で流れてくるものをいいます。



県内の 土石流危険溪流

**2,129** 溪流

### 地すべり

大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動き出すものをいいます。



県内の 地すべり危険箇所

**62** 箇所

合計	滋賀県	土砂災害危険箇所	<b>4,910</b> 箇所
----	-----	----------	-----------------

# 土砂災害防止法

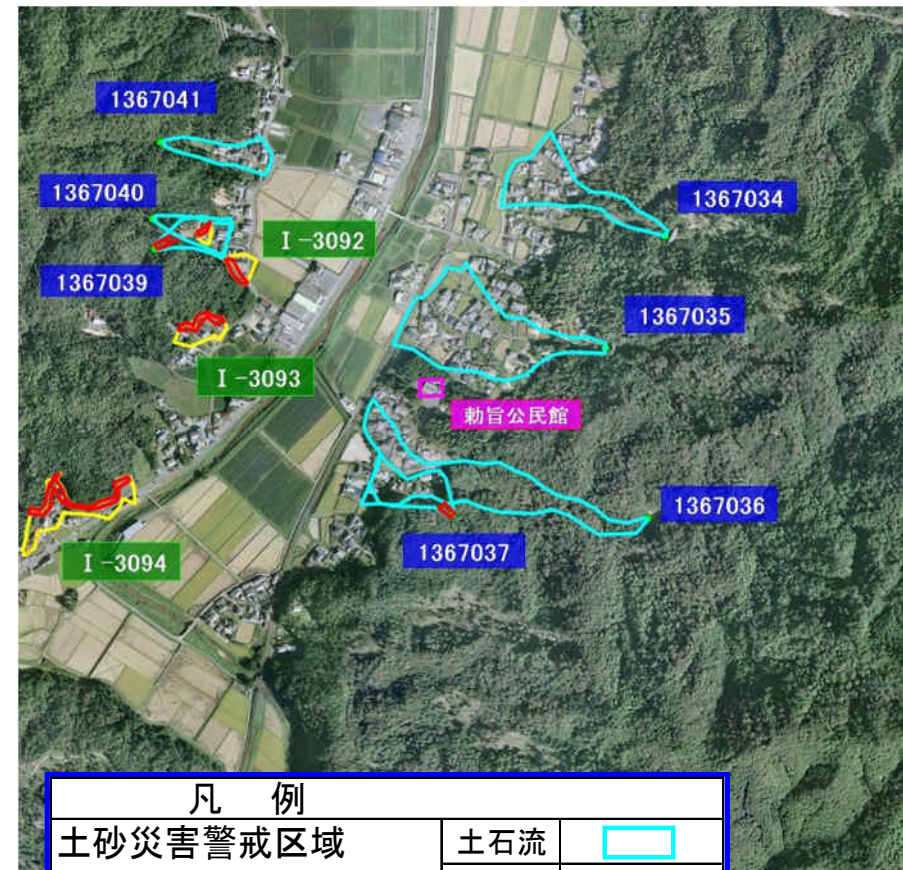
正式名称：土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(H13.4.1施行)

## －特別警戒区域－

土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域について

- 警戒避難体制の整備
- 警戒避難に関する事項の住民への周知
- 開発行為の制限
- 建築物の構造の規制
- 既存住宅の移転等の勧告等のソフト対策を推進する。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域 甲賀市信楽町勅旨地区



## 土砂災害警戒区域の指定状況

区域指定 予定箇所数 (a)	土石流		急傾斜地の崩壊		計		区域 指定率 (b)/(a)
	うち特別 警戒区域		うち特別 警戒区域		(b)	うち特別 警戒区域	
4,910	1,441	734	1,920	1,599	3,361	2,333	68.5%

凡 例		
土砂災害警戒区域	土石流	
	急傾斜	
土砂災害特別警戒区域	土石流	
	急傾斜	



# 昭和28年 多羅尾豪雨による土砂災害(1) <sup>8</sup>

8月14日夜から15日朝にかけて、  
旧多羅尾村を中心とした甲賀南  
東部で300mm超の豪雨



昭和28年(1953年) 写真提供: 多羅尾村



平成16年(2004年) 写真提供: 子ども流域文化研究所

死傷者等(人)		罹災家屋(棟)			
死亡	負傷	流失・全壊	半壊	床上浸水	床下浸水
44	242	109	268	488	483

※上記内容は、琵琶湖河川事務所「淀川水系・三世代交流型水害史調査 ~今よみがえる水害の記憶と知恵~ その5 大戸川編」を引用



# 昭和28年 多羅尾豪雨による土砂災害(2) <sup>9</sup>

昔



昭和28年(1953年) 写真提供:多羅尾村

過去の水害の教訓を  
次世代に伝える取り組み



まち歩き

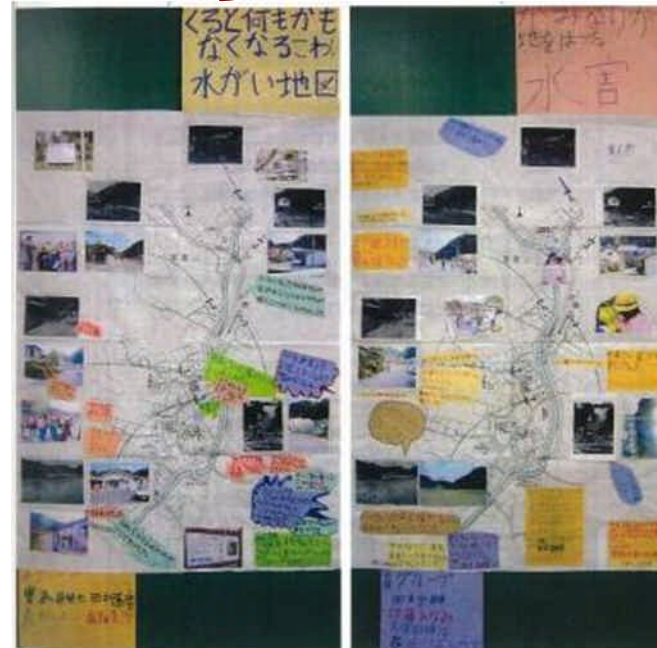


マップづくり

今



平成15年(2003年) 写真提供:子ども流域文化研究所



平成16年(2004年)10月 写真提供:子ども流域文化研究所

※上記内容は、琵琶湖河川事務所「淀川水系・三世代交流型水害史調査 ～今よみがえる水害の記憶と知恵～ その5 大戸川編」を引用